

I 安心して子育てできるまち

【経営課題1】子育て・教育環境の一層の充実

戦略 1-1 子育て支援の充実

- 【1-1-1】乳幼児とその保護者の健康を保つ支援
  - ・大阪市版ネウボラの推進 など
- 【1-1-2】「重大虐待ゼロ」をめざす取組
  - ・「あさひキッズコーディネータ」を配置し、アウトリーチを基本とした「重大虐待ゼロ」の取組の実施
  - ・「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）」の開催 など
- 【1-1-3】制度の周知・相談機能の充実
  - ・3ヶ月児健診時に子育て支援事業の説明等を実施 など

戦略 1-2 子ども自身の生きる力の育成支援

- 【1-2-1】中学生の基礎学力定着支援
  - ・旭ベーシックサポート事業（中学生・放課後） など
- 【1-2-2】小学生の学力向上支援
  - ・児童の学力向上サポート事業（学力分析機能付き単元テスト）など
- 【1-2-3】小学生の体力・運動能力向上支援
  - ・児童の運動能力向上サポート事業（体育出前授業） など
- 【1-2-4】子どもがたくましく生きる力をつける取組
  - ・中高生への学習支援や相談対応、居場所づくりを通じた高校等への進学と中途退学の防止
- 【1-2-5】子どもの自立心を育むための支援
  - ・中高生の職業観や就労意識形成
- 【1-2-6】こども食堂における学習等支援



II やさしさあふれるまち

【経営課題2】区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開

戦略 2-1 健康寿命を延ばす取組

- 【2-1-1】健康づくりの支援
  - ・あさひ健康フェスタの開催 など
- 【2-1-2】高齢者の活力向上支援
  - ・「いきいき百歳体操」代表者意見交換会の開催 など

戦略 2-2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

- 【2-2-1】誰もが活躍できる仕組みの確立
  - ・「障がい者週間」に開催される座談会や交流会による啓発活動 など
- 【2-2-2】誰もが安心して暮らせる仕組みの確立
  - ・高齢者月間の「広報あさひ」での相談機関等の周知 など
- 【2-2-3】あさひあったかバスの運行支援



III 活力あるまち

【経営課題3】地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出

戦略 3-1 地域コミュニティの活性化促進

- 【3-1-1】地域活動協議会による自律的な地域運営の促進
  - ・全地域活動協議会の事業や運営等に関するアドバイスの実施 など
- 【3-1-2】コミュニティの活性化
  - ・地域の各種団体と協働して各種催しを企画・実施 など
- 【3-1-3】文化芸術によるコミュニティ育成
  - ・国産木材を活用した文化的コミュニティの育成・活性化の取組 など
- 【3-1-4】生涯学習の推進
  - ・関係施設・生涯学習推進員との連絡会の開催 など
- 【3-1-5】人権施策の推進
  - ・ふれあいシアターの実施 など

戦略 3-2 まちの魅力創出と地域資源を活用したにぎわいづくり

- 【3-2-1】まちの魅力創出と発信
  - ・旭区ブランドの認定・区の魚（イタセンパラ）の保全活動及びPR など
- 【3-2-2】城北公園の魅力向上
  - ・城北公園フェア 2020
- 【3-2-3】商店街の魅力向上
  - ・インバウンド誘致（情報発信・体験メニュー） など

IV 安全に暮らせるまち

【経営課題4】地域防災力・地域防犯力の強化

戦略 4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実

- 【4-1-1】地域防災意識の向上
  - ・自主防災組織及び地域防災リーダーの育成 など
- 【4-1-2】地域防災力の底上げ
  - ・防災拠点の整備・充実（防災物資等） など

戦略 4-2 地域防犯力の強化

- 【4-2-1】防犯対策の強化
  - ・防犯カメラの設置（城北運河遊歩道） など
- 【4-2-2】交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化
  - ・駅や中心市街地の特性を踏まえた効率的な撤去の実施 など

## 戦略1-1 【子育て支援の充実】

### <めざす状態>

妊娠出産期、乳幼児期それぞれの子育てニーズに応じた取組を行うことによって、安心してこどもを育てられ、地域全体で見守りが行われていると感じるまちづくり

### <戦略>

- ・子育ての不安感・負担感を軽減するため、必要な支援・相談体制をつくり、参加や交流を促す。
- ・大阪市版ネウボラを推進し、保健師を通じて役所と親が信頼できる関係性を構築し、子育てに関する様々な相談に対応し社会的資源に繋がっていく。
- ・子育て支援機関での「あさひ子育て安心ネットワーク(あさひキッズネット)」を充実させ、地域全体で子育てを支える仕組みづくりを強化する。
- ・要保護児童対策として、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関における情報共有と支援方針を明確にした体制を整備・充実させる。

令和2年度に取り組むこと

### めざす状態 を数値化

子育てに関する相談やサポートに満足している割合《区民アンケート》  
令和2年度までに70%以上  
<30年度実績82.9%>  
<29年度実績62.7%>

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<p><b>乳幼児とその保護者の健康を保つ支援【予算額5,224千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市版ネウボラによる乳幼児とその保護者への支援</li> <li>・発達障がい等の早期発見及び早期支援にかかる事業の強化</li> <li>・あさひプレママサロン(妊婦の交流会)の開催</li> </ul>	<p><u>保健師が乳児を持つ保護者に対して行っている「常設健康相談」と「赤ちゃん広場」に来られた件数のべ850件以上</u></p>	<p>臨床心理士による相談件数 600件以上</p>
②	<p><b>「重大虐待ゼロ」をめざす取組【予算額9,477千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催</li> <li>・<u>アウトリーチを基本としたあさひ子育て見守り事業の実施</u></li> <li>・「あさひ子育て安心ネットワーク(あさひキッズネット)会議」の開催</li> <li>・地区ネットワークの仕組みの構築</li> <li>・子育て中のお母さんの負担軽減やストレス解消などの講座の開催</li> <li>・子育て相談メールでの保護者の悩みの受付</li> </ul>	<p>乳幼児健診時におけるキッズカードの所持率 50%以上</p>	<p>モデル地区におけるキッズカードの所持率 50%以上</p>
③	<p><b>制度の周知・相談機能の充実【予算額964千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業の説明、子育て情報誌の定期発行</li> <li>・子育て支援ホームページを体系的に整備</li> <li>・子育て中のお母さんの負担軽減やストレス解消などの講座やイベントの開催</li> <li>・発達障がいまたはその疑いのある児童を持つ保護者にする支援</li> <li>・子育てわいわい広場の開催</li> <li>・幼稚園・保育所(園)情報フェアの開催</li> </ul>	<p>講座やイベントでのアンケートにおける満足度 70%以上</p>	<p>(同左) 70%以上</p>

経営課題1 【子育て・教育環境の一層の充実】

戦略1-2 【子ども自身の生きる力の育成支援】

＜めざす状態＞

全ての子どもが健やかに成長し、基礎的な知識を習得し、学習習慣を定着させる

＜戦略＞

- ・小学生及び中学生を対象として、基礎学力向上のための事業を実施する。
- ・学習習慣や生活習慣が十分身につけていない子ども達に対して、学習支援や自尊心・自己肯定感を育ませる事業を実施する。

めざす状態  
を数値化

学習習慣が確立されている児童・生徒の割合《教員アンケート・区民アンケート》  
令和2年度までに60%以上  
※R1新指標のため過去の測定値なし

令和2年度に取り組むこと

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<b>中学生の基礎学力定着支援【予算額1,860千円】</b> ・「旭ベーシックサポート事業」の実施 ・「旭塾」の実施	参加生徒の学習意欲の向上や宿題、自主学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校 4校	(同左) 4校

②	<b>小学生の学力向上支援【予算額6,657千円】</b> ・「学力アップアシスト事業」の実施 ・「児童の学力向上サポート事業」の実施	参加児童の学習意欲の向上や学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校 10校	(同左) 10校
③	<b>小学生の体力・運動能力向上支援【予算額1,058千円】</b> ・「児童の運動能力向上サポート事業」の実施	参加児童の運動能力・体力の向上について、成果があったと感じる学校 6校以上	(同左) 6校以上
④	<b>子どもがたくましく生きる力をつける取組【予算額5,604千円】</b> ・中学生に対して居場所を提供 ・学習支援サポーターによる宿題復習サポートを実施 ・栄養学等や調理実習、参加型・ワークショップ形式の学習や討論形式のプログラムを開催 ・あさひ学び舎卒業生に対する学習・相談支援の実施	参加した中学生の高等学校等への進学率90%	(同左) 90%
⑤	<b>子どもの自立心を育むための支援【予算額1,411千円】</b> ・「あさひ学び舎事業」と連携し、中学・高校生の職業観や就労意識形成 ・各種職業従事者を招いての講話及び体験講座 ・区内企業等の協力による職場・施設等見学	事業参加者の満足度80%以上	(同左) 70%以上
⑥	<b>こども食堂における学習等支援【予算額895千円】</b> ・学習・生活習慣を指導する支援員の派遣 ・こども食堂が企画する食育等の体験学習への講師派遣 ・運営事業者に対するアドバイス・講習会等コーディネーターの派遣 ・学習支援に必要な教材等の配備 ・新規開設に向けた講演会等の啓発活動の実施	学習できる環境が整い、学習・生活習慣がついたと感じる運営者60%以上	(同左) 60%以上

経営課題2 【区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開】

戦略2-1 【健康寿命を延ばす取組】

＜めざす状態＞

- ・区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病の改善及び早期発見・早期治療を実践する区民の割合を増やす。
- ・高齢者一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、自らの力で自立した生活ができる高齢者の割合を増やす。

＜戦略＞

- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会等区内の関係団体と協力し、健康に関する興味・動機づけを行える催し(あさひ健康フェスタ)を開催する。
- ・介護予防のため、「いきいき百歳体操」の新規立ち上げなど、地域における自主活動を支援する。

令和2年度に取り組むこと

めざす状態  
を数値化

健康意識の高まりを感じる区民の割合《区民アンケート》  
令和2年度までに83%以上  
＜30年度実績73.1%＞  
＜29年度実績70.5%＞

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<p><b>健康づくりの支援【予算額82千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさひ健康フェスタの開催</li> <li>・がん検診受診について区広報紙等で周知</li> </ul>	<p>あさひ健康フェスタの参加延べ人員 500名以上</p>	<p>(同左) 500名以上</p>
②	<p><b>高齢者の活力向上支援【予算額289千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいき百歳体操」新規立ち上げグループへの指導</li> <li>・「いきいき百歳体操」代表者意見交換会の開催</li> <li>・「あさひ健康フェスタ」にて90歳以上の「いきいき百歳体操」参加者を表彰</li> <li>・健康大学の開催</li> <li>・「地域型認知症予防プログラム」を実施し、自主活動を支援</li> </ul>	<p>いきいき百歳体操参加者アンケートで、筋力の維持増進に繋がっていると答えた割合 80%以上</p>	<p>(同左) 80%以上</p>

経営課題2 【区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開】

戦略2-2 【誰もが暮らしやすいまちづくりの取組】

＜めざす状態＞

障がいをお持ちの方や高齢者の方などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく安心してともに暮らせるまちをめざす。

＜戦略＞

複合的な課題のある要援護者や、深刻化するまで気付かれない要援護者等、対応の難しい課題が増加している中、福祉関係機関やNPO法人、ボランティア団体等のネットワークを強化し、地域住民とも連携して見守りや支援の体制を整える。

令和2年度に取り組むこと

めざす状態  
を数値化

- 障がい者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合《区民アンケート》  
令和2年度までに65%以上  
＜30年度実績62.0%＞  
＜29年度実績64.1%＞
- 高齢者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合《区民アンケート》  
令和2年度までに65%以上  
＜30年度実績61.7%＞  
＜29年度実績63.0%＞

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<p><b>誰もが活躍できる仕組みの確立【予算額854千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉事業所の授産製品の物販、作品展示等の場の提供を通じて活動を周知</li> <li>・「障がい者週間」に開催される座談会や交流会を通じた啓発活動</li> </ul>	福祉関連のイベントや学習会等において実施するアンケートで、満足度80%以上	(同左) 70%以上
②	<p><b>誰もが安心して暮らせる仕組みの確立【予算額597千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お守りカード」の作成・配布</li> <li>・高齢者月間の「広報あさひ」特集号での相談機関等の周知</li> </ul>	高齢者の相談機関「地域包括支援センター」の認知度《区民アンケート》50%以上	(同左) 60%以上
③	<p><b>あさひあったかバスの運行支援【予算額7,700千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等に対する区内交通アクセスの確保を目的とした補助事業の継続</li> </ul>	1月あたり平均6,000人以上が利用	(同左) 7,000人以上

経営課題3 【地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出】

戦略3-1 【地域コミュニティの活性化促進】

＜めざす状態＞

地域課題を共有しながら活動できる校区等地域を単位として、各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を発揮し、様々な地域課題に取り組む地域活動協議会が、自律的に地域運営を行う活力ある地域社会

＜戦略＞

- ・地域団体やNPO、企業等地域のまちづくりに関する様々な活動主体が幅広く参画し、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域運営に取り組む活動を積極的に支援するため、自律的に地域課題の解決に取り組む地域活動協議会の運営支援に取り組む。
- ・生涯学習関連団体や区民ボランティア、社会教育関係団体等と連携した取組を進める。

↓ 令和2年度に取り組むこと

めざす状態  
を数値化

- 地域が自律的に運営されていると感じる区民の割合《区民アンケート》  
令和2年度までに65%以上  
＜30年度実績51.3%＞  
※29年度は測定なし
- 地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合  
《市政改革アンケート》令和5年度：●%（確定次第掲載）

R2具体的取組

R2めざす指標

R1指標

①	<b>地域活動協議会による自律的な地域運営の促進【予算額31,387千円】</b> ・区内の全10地域活動協議会が広く住民全般を対象として行う事業や地域活動協議会の運営等に関するアドバイスを実施	防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境及び文化・スポーツの分野において、広く住民全般を対象として全10地域活動協議会が行う事業実施件数 120件以上	(同左) 120件以上
②	<b>コミュニティの活性化【予算額6,854千円】</b> ・地域の各種団体と協働してコミュニティ活性化のための各種催しを企画・実施	コミュニティ活性化のための各種催しを知っている区民の割合《区民アンケート》90%以上	(同左) 95%以上
③	<b>文化芸術によるコミュニティ育成【予算額6,866千円】</b> ・区民が中心となった文化芸術を通じたコミュニティを育成するため「旭区総合文化祭」を開催 ・文化芸術を通じた区民のコミュニティの拠点として「旭区文化芸術振興連絡会」を運営 <u>・国産木材を活用した文化的コミュニティの育成・活性化の取組</u>	①会員アンケートにおいて、当会に参加しつながりや活動が広がったと感じる割合 70%以上 ②イベント参加者アンケートにおいて、文化芸術を通じた旭区のコミュニティが活性化したと感じる割合 50%以上	①(同左) 70%以上 ②(同左) 50%以上
④	<b>生涯学習の推進【予算額1,272千円】</b> ・生涯学習関連機関・区民ボランティア・社会教育関係団体等と連携した事業を実施	参加者アンケートにおいて、生涯学習講座等へ参加することで人と人がつながり、コミュニティの活性化に寄与すると感じると回答する人の割合 80%以上	(同左) 80%以上
⑤	<b>人権施策の推進【予算額4,452千円】</b> ・人権・生涯学習情報紙「じんけんあさひ」の発行 ・ふれあいシアターの実施 ・大阪市人権啓発推進員 旭区連絡会の開催 ・にほんご教室の開催 ・人権相談の実施	人権啓発事業の参加者アンケートで、人権に対する理解が深まったと回答した割合 80%以上	R2 新規項目

経営課題3 【地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出】

**戦略3-2 【まちの魅力創出と地域資源を活用したにぎわいづくり】**

**<めざす状態>**

- ・若い世代が地域を支え、にぎわいや活力の源泉となるバランスのとれた人口構成となる。
- ・区の魅力情報が豊富に発信されることにより、住んでみたい区にあげられ、地域の賑わいや活性化につながり、さらに区民が旭区に愛着をもつ状況をめざす。

**<戦略>**

- ・地域資源である城北公園等を活用したにぎわいの創出とまちの魅力の発掘・発信を強化し、地域に対する愛着につなげる。
- ・地域と商店街等との結びつきを深め、地域経済の活性化を推進する。
- ・区への定住促進や集客を図り、区の活性化につなげる。

**めざす状態  
を数値化**

- ・地域の賑わいや活性化が進んだと感じる区民の割合《区民アンケート》  
令和2年度末 80%以上  
<30年度実績70.8%>  
<29年度実績75.6%>

令和2年度に取り組むこと

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<b>まちの魅力創出と発信【予算額3,061千円】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭区ブランドの認定</li> <li>・区魚(イタセンパラ)の保全活動及びPR</li> <li>・小学校での花菖蒲栽培</li> <li>・音楽を通じたにぎわいイベント</li> <li>・あさひ、だいすき♪『旭区検定』の実施</li> <li>・大阪工業大学との連携事業の推進</li> </ul>	一般紙における旭区の魅力発信 5件以上	(同左) 5件以上
②	<b>城北公園の魅力向上【予算額4,000千円】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城北公園フェア2020</li> </ul>	区外からの来場者割合 70%以上	(同左) 70%以上
③	<b>商店街の魅力向上【予算額504千円】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手店主向け勉強会</li> <li>・空き店舗への若手店主の誘致</li> <li>・インバウンド誘致(情報発信・体験メニュー)</li> </ul>	商店街に魅力を感じる区民の割合《区民アンケート》 75%以上	(同左) 75%以上

経営課題4 【地域防災力・地域防犯力の強化】

戦略4-1 【「ご近助」精神による防災体制の充実】

＜めざす状態＞

地震や台風、火災、河川氾濫などによる災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限に食い止めることができる体制をつくとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。

＜戦略＞

- ・地域ごとの特性や熟度に応じた防災体制づくりを進める。
- ・災害時の初動に強い自助・共助（ご近助）の地域づくりをめざし、大型粉末消火器や防災物資等の使用方法等のPRに努める。

令和2年度に取り組むこと

めざす状態  
を数値化

旭区の地域防災体制に満足している区民の割合《区民アンケート》  
令和2年度までに70%以上  
＜30年度実績54.9%＞  
＜29年度実績67.6%＞

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<p><b>地域防災意識の向上【予算額2,298千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での防災講座、学校での土曜授業、広報紙等による防災啓発の実施</li> <li>・自主防災組織及び地域防災リーダーの育成、区職員の防災力向上のための訓練や研修の実施</li> </ul>	<p>各家庭において、防災対策をとっている区民の割合《区民アンケート》</p> <p>60%以上</p>	<p>(同左)</p> <p>60%以上</p>
②	<p><b>地域防災力の底上げ【予算額7,660千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な防災物資等の整備・充実を図ることによる地域の災害対策本部や避難所並びに区災害対策本部の機能の強化</li> <li>・避難行動要支援者(災害時要援護者)の支援、空家対策、関係機関や民間事業者との災害時連携や協定締結等の取組を推進</li> <li>・大型粉末消火器の使用方法の周知</li> </ul>	<p>旭区の防災物資等の整備状況等に満足している区民の割合《区民アンケート》</p> <p>60%以上</p>	<p>(同左)</p> <p>40%以上</p>

## 戦略4-2 【地域防犯力の強化】

### <めざす状態>

- ・犯罪が発生した場所や時間、被害対象等の情報を警察等の機関との連携のもとで分析し、有効な防犯対策につなげる。
- ・地域と協働で防犯カメラや青色防犯パトロールを行い、犯罪や交通事故のないまちをめざす。

### <戦略>

- ・防犯パトロール活動や防犯啓発を実施するとともに、区民による防犯ボランティア活動を支援することにより自主防犯活動の意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりの取組を進める。特に自転車盗対策の強化に市民局や警察署と連携しながら重点的に取り組む。
- ・交通マナーの向上や、「交通事故をなくす運動旭区推進本部」による交通事故をなくす取組、放置自転車・自転車のマナーアップの取組を継続して実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりの取組を進める。
- ・警察・建設局・地域・周辺事業者の協力を得て、やなぎ通りの歩道にある自転車を無くす。さらに、やなぎ通りを自転車の安全通行モデル路線として整備していく。

### めざす状態 を数値化

区による防犯関係の取組が成果につながっていると感じている区民の割合 《区民アンケート》  
令和2年度までに75%以上  
<30年度実績80.9%>  
<29年度実績74.7%>



令和2年度に取り組むこと

	R2具体的取組	R2めざす指標	R1めざす指標
①	<p><b>防犯対策の強化【予算額3,619千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・EV車による青色防犯パトロールの実施</li><li>・警察と連携し、地域と協働して自転車盗難防止キャンペーンやひったくり防止キャンペーン等を実施</li><li>・防犯カメラの維持管理等</li><li>・<u>防犯カメラの設置(城北運河遊歩道)</u></li></ul>	令和2年の街頭における犯罪発生件数を前年より減少させる	令和元年の街頭における犯罪発生件数を前年より減少させる
②	<p><b>交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化【予算額638千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全大会や区民との街頭啓発</li><li>・駅や中心市街地の特性を踏まえた効率的な撤去の実施</li></ul>	令和2年の区内自転車交通事故発生件数を前年より減少させる	令和元年の区内自転車交通事故発生件数を前年より減少させる